

長距離自然歩道、食を楽しむマラソン…

## 「ひがし北海道」の魅力発信

### 釧路の市民団体、PR構想

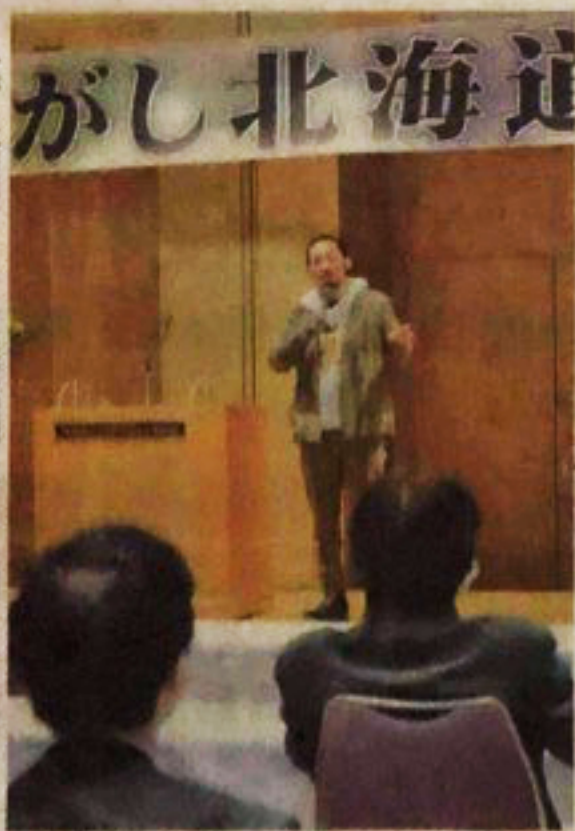
釧路市の市民団体「ひがし北海道ブランド化推進協議会」(小船井修一会長)は、釧路、根室、十勝、オホーツクの道東4管内にまたがる「ひがし北海道」を国内外にPRする「未来予想図」を作成し、お披露目式を市内のホテルで開いた。

(長堀幸乃)

14日に実施。未来予想図はレジネス書の著者で経営コンサルタントの村尾隆介さん(47)＝東京＝が構成などを担当。釧路空港と女満別空港を結ぶロングトレイル(長距離自然歩道)の選定やアイスクリームなどの食を楽しむマラソン開催といったユニークなアイデアが示された。

基調講演で村尾さんは、地域のブランド化について「地域の魅力を磨くことで、リピーターのファンをつくること」と説明し、「ひがし北海道のファンを1人でも多く増やしましょう」と呼び掛けた。

式ではこのほか、ひがし北海道の住民らが地域の課題や魅力について意見を交わす「ひがし北海道ブランド大学」を毎月7日午後7時から開くことも明らかにした。



ひがし北海道をPRする未来予想図について説明する村尾隆介さん